



師走にシクラメンを

11月30日 当別高校

当別高校の農業クラブの生徒が育てたシクラメンが販売されています。

ヨーロッパの地中海地方が原産で、冬の鉢花として親しまれていますが、当別高校では種から栽培し、花にするまで1年かかると言います。園芸デザイン科の中村^{よしき}弥希さんは「花を咲かせる前に絡まった茎を、1本ずつ真っ直ぐに整えるのが難しい。」と苦労を聞かせてくれました。一鉢300円から500円とお求めやすく、常連のお客さんの姿が目立ちました。



子ども達が考える当別PR作戦

12月1日 北海道医療大学

町内の小・中・高校生の代表が集まり、各学校の情報交換や地域との関わりについて考えるTOWNミーティングが北海道医療大学を会場に開かれました。

今年のテーマは「当別町を全国区にするPR大作戦」。8校の児童生徒が4つのグループに別れ、町のいいところなど、アイディアを出し合い、発表。「もっと夜景をアピールすべき」「ゆるキャラをつくる」「ふれあいバスや道民の森をテレビデビューで有名に」など町の実情をよく観察しているものばかりでした。



とてもあたたか、ロシア祭

12月9日 スウェーデン交流センター

北欧の伝統行事「ロシア祭」が開催され、ロシア姫と16人の精霊が、クリスマスの歌を披露しました。

今年のロシア姫は、フィンランドからの留学生インカさんで、歌も北欧の言葉で歌われました。

札幌市在住の会社員の方は「子ども達が一生懸命歌うクリスマスソングは、ここでしか聞けない。素敵なお祭です。毎年楽しみに15年も訪れています。」と話していました。